

科目名称：	英会話 I	
担当者名：	ガート・ウエスタハウト	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
この授業の目的は、英語によるコミュニケーション力を培うことです。日常のいろいろな出来事や基本的な日常会話のスキットを通してコミュニケーション力を身につけます。さらに、学業や職業における人としての資質を磨くことを重視します。一緒にベストを尽くしてがんばりましょう。そうすれば、もっとたくさん学習できます。		
授業の達成目標・到達目標		
英語の授業を通し時間厳守、物事への積極的な参加、組織作り、自己や他者に対する思いやりを大切にするのできる人間形成を目標とします。この授業は単なる講義ではないので、積極的な参加が求められます。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	地域社会を理解し、様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化するビジネス社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	ビジネス実務の分野において、基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、各種資格取得を目指して専門性を磨き、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP(1)					0
ビジネスDP(2)					0
ビジネスDP(3)		60		40	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
英語理解	教材の内容をよく読み、理解することができる。	教材をゆっくり読むことができる。ある程度理解できる。	わからないことを調べながら、ゆっくり読むことができる。	教材をあまり読まず、理解もできていない。
理解の視点と表現	テキストを見ずに指導者と会話ができる。	テキストを見ながら会話ができる。	テキストを見ながら、ゆっくり会話ができる。	テキストを見てもスムーズに読めず、会話ができない。
学びへの積極性	質問や意見など、講義内で毎回1回以上発言できる。	質問や意見など、講義内でたびたび自発的に表現できる。	質問や意見など、時々表現できる。	講義に対して、聞く気がなく、居眠り、私語などがある。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 Introduction, classroom English	read this syllabus	10分
第2回 past tense, news	collect three news items	45分
第3回 past tense review, news, resume writing	fill out resume form	45分
第4回 present tense, resume	daily report	45分
第5回 Quiz 1 present tense review, interviewing	make interview questions	45分
第6回 interviewing, movie critiques	make movie list	45分
第7回 introduction to poetry	rhyme worksheet	45分
第8回 poetry continued, words of praise	spelling words	45分
第9回 words of praise continued, writing	diary	45分
第10回 Quiz 2, time and calendars, future tense	time worksheet	45分
第11回 future tense continued, time, making plans	list of heroes	45分
第12回 discussing famous people, research basics	research outline	45分
第13回 research outline	prepare presentation	45分
第14回 Research paper presentations	feedback	45分
第15回 Quiz 3, interviews	feedback	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリントをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。

小テスト3回 @ 20% (60) ; 発表 1回 @30% (30) ; 参加力@10% (10)

課題に対するフィードバック

プレゼン資料の下書きと最終版についてコメントを返す。学期中には学生の進捗を確認し、支援が必要な場合は対応する。

教科書・参考書

プリントを配付する。